

---

# 器物破損罪

ジラーが笑った日

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
器物破損罪

【Nコード】  
N7167M

【作者名】  
ジラーが笑った日

【あらすじ】  
罪を犯した人への罰は・・・・・・・・

## （前書き）

表現が、少し幼稚かも知れませんが、  
書き換える事もあると思いますので、  
よろしく願います。

世界で一番、悪い人。人の心を壊した人は、世界で一番、悪い人。悪い人は罰を受ける。世界で一番、悪い人は、もう一度舞台に立たなければいけなくなる。

彼が犯した犯罪は「器物損壊罪」。モノを壊して人も壊れた。壊れた人は、治らなかった。壊れた人で悲しんだ人。人の心を壊してしまった、彼は世界で一番、悪い人。

だけど何も失わなかった、彼は罪を償うの。神に二枚舌は通じない。彼は罰を受ける。彼は死んで、楽しい楽しい喜劇の舞台はこれで終わり。家に帰るはずの役者は、眠らず新しい悲劇の舞台に立つのです。

彼は生まれた、新しく。世界で一番、美しい色を持って。彼の心は白で生まれた。透明で生まれる筈の赤子の心、彼は一人、心が欠けてた。大きな大きな世界の中で、彼は一人、違っていた。

彼の心は、誰にも染めて貰えなかった。一人で悪意に逆らって、自分を責めて、泣いていた。彼は正義が好きだった。この大きな大きな世界の、何処でも正義は埋もれていて。見えなくて。悪意が溢れる深くて暗い海のような、世界を彼は生きていた。

彼は悪意という心が欠けて、それでも必死に生きていた。悪意という心の盾を、持たない彼。守ってくれるモノも無く、世界で一人の悲劇の役者は、世界が傷つけ苦しんだ。

彼の心は、世界で一番、大きい心。大きい心に目一杯の想いを詰めて。重い重い荷物は彼を、押しつぶした。

世界で一番、悪い人は、世界で一番、美しい、大きな心で生まれてくる。

それは最も哀しく、辛い生き方。

世界で一番、悪い人は、苦しい悲劇の、眠れない役者になる。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7167m/>

---

器物破損罪

2010年10月15日22時01分発行